

各地の6・9行動で募金訴え

4月6日、各地でとりくまれた6・9行動で「ひまわり募金」活動が始まっています。

日本原水協が JR 新宿駅西口・小田急百貨店前でとりくんだ6・9行動では、募金箱を置いた瞬間にお札が入られました。大学生ぐらいの若い男性が小銭を入れて立ち去ったり、行動終了後、募金箱を片付けようとしている時に1万円札が入られたりと約1時間の行動で24,769円が寄せられました。



広島県原水協は県被団協とともに広島市内の金座街で定例の6・9行動にとりくみ、「禁止条約参加署名」にサインした70代の女性が「これがギリギリです」と言いながら5,000円札をカンパしてくれるなど、約30分で8,100円の「ひまわり募金」が寄せられました。

県原水協は9日（土）の午前10時30分には元安橋で署名行動にとりくむことにしています。この日は福山市原水協も午後にはウクライナ問題を中心に街頭行動にとりくむ予定です。また、10日（日）は広島市原水協が平和公園の記念碑前で12時15分から45分まで座り込み学習会をおこないます。

北海道原水協が JR 札幌駅前できりくんだ6・9行動には、2週間前にウクライナから避難してきたという12歳の少女が「ひまわり募金」の箱を持ってくれました。お小遣いから100円玉を募金した



9歳の小学生が「署名もする」と丁寧にサイン。母親の背負ったバッグには中学生の娘が作ったというウクライナ国旗カラーのキーホルダーが。親子揃って署名しました。小樽原水協の6・9行動では2,300円が寄せられ、行動の後に開かれた原水協幹事会での募金と一緒に日本原水協に送ることにしています。



各地の計画をお寄せください。